

41 照明灯設置工事完成図書電子化要領

照明灯設置工事完成図書電子化要領

照明灯設置工事における完成図書を電子化（スキャニングによるラスターデータ化）する際の基準等を定めたものである。

1. 準拠する基準

完成図書の電子化において、本仕様書で示されていない項目や一般的な項目については、以下の基準に従う。

工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編：国土交通省（平成22年9月）

2. データフォーマット

ラスターデータのフォーマットは、以下に示すとおりとする。

- ①モノクロの図面⇒T I F F（G 4圧縮）
- ②カラーの図面⇒ J P E G（J P E G-T I F F形式）

3. データの精度

ラスターデータを作成する場合は、以下の仕様に準拠したファイルを作成する。

仕 様	内 容	備 考
縮尺	元資料と同一	コピー等で縮小されているものは、再度コピーで拡大するのではなく、解像度の調整によりデータ取得時に調整する。
読み取り範囲	元資料と同範囲	
解像度	300dpi程度を目安とする	200dpi～400dpiを目安とする
出力	元資料サイズ	規格外の長尺図面については、元図面サイズが基本で、図面分割等を行わない。

4. ファイル名の付け方

原則としてファイル名は半角8文字以内とする。また、ファイル名に使用する文字は大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」のみとする。

照明灯設置工事における完成図書の標準的なファイル名の付け方は、以下に示すとおりとする。

- ① 施工位置図⇒ITI01.tif
- ② 照明灯一覧表⇒ITIRAN01.tif
- ③ 設備台帳写し⇒DAI001.tif
- ④ 竣工図⇒SYUNK001.tif
- ⑤ 関西電力申込書⇒DEN001.tif
- ⑥ 廃止届申込書⇒HAISI01.tif 注) 下線部分がファイル名
- ⑦ 使用資材一覧表⇒SIZAI01.tif
- ⑧ 各種完成図⇒KANSEI01.tif
- ⑨ 試験成績表⇒SIKEN01.tif
- ⑩ 基礎図⇒KIS001.tif
- ⑪ その他⇒OTHER001.tif

完成図書作成にあたり必要のないファイルは省略しても良い。

なお、各ファイル名の後ろについている「.tif」は拡張子である。

また、ファイル名の最後についている数値は、各完成図書の通し番号をつけるものとする。

5. 説明用ファイル

電子媒体で納品される工事完成図書データにおいては、図書全体の概要（属性）を記載した説明用ファイルを添付する。

説明用ファイルはエクセルを利用して作成し、c s v形式で保存する。

説明用ファイルに記述する内容は、「工事名称」「工事完成年月」「設計部署名」「受注者名」の4項目とする。

作成された説明用ファイルのイメージは、以下に示すとおりである。

説明用ファイルイメージ

工事名称	工事完成年月	設計部署名	受注者名
〇〇〇〇〇工事	平成△△年△月	□□部□□担当	▽▽▽▽ (株)

なお、csv形式ファイルの作成にあたっては、データ項目毎に「,」（カンマ）で区切り、文字データを「”」（ダブルクォート）で囲めば、エクセル以外のソフトを利用して作成してもよい。

説明用ファイルのファイル名は、「INDEX. x x x」とする。

拡張子であり、「c s v」や「t x t」となる

6. フォルダ構成

ラスタ化した図面を電子媒体で納品する場合のフォルダ構成は、以下に示すとおりとする（ファイル名と同じフォルダを作成する事を基本とする）。

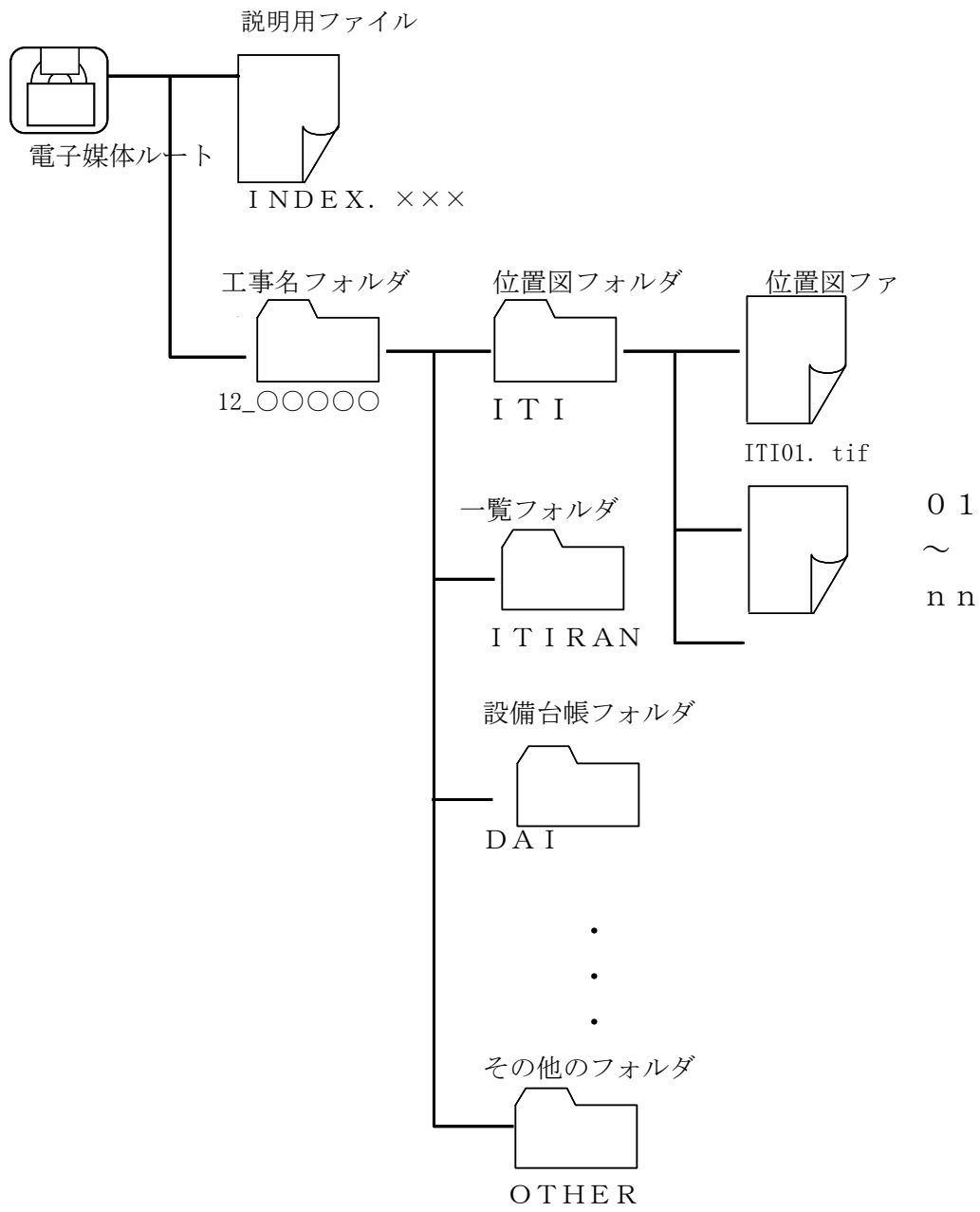
なお、電子媒体ルートの直下には、上述した説明用ファイルとともに工事名を表すフォルダを作成し、そのフォルダの下に各資料名のついたフォルダを作成する。

工事名を表すフォルダ名称については、工事の年度を半角数字で記述した後に「_」（アンダスコア）をつけ、その後に工営所名（管内一円工事の場合）または路線名（路線工事の場合）を日本語でつける。

全データを入れるフォルダ名の標準的な付け方は、以下のとおりである。

12_〇〇〇工営所（管内一円工事）

12_△△△△△線（路線工事）

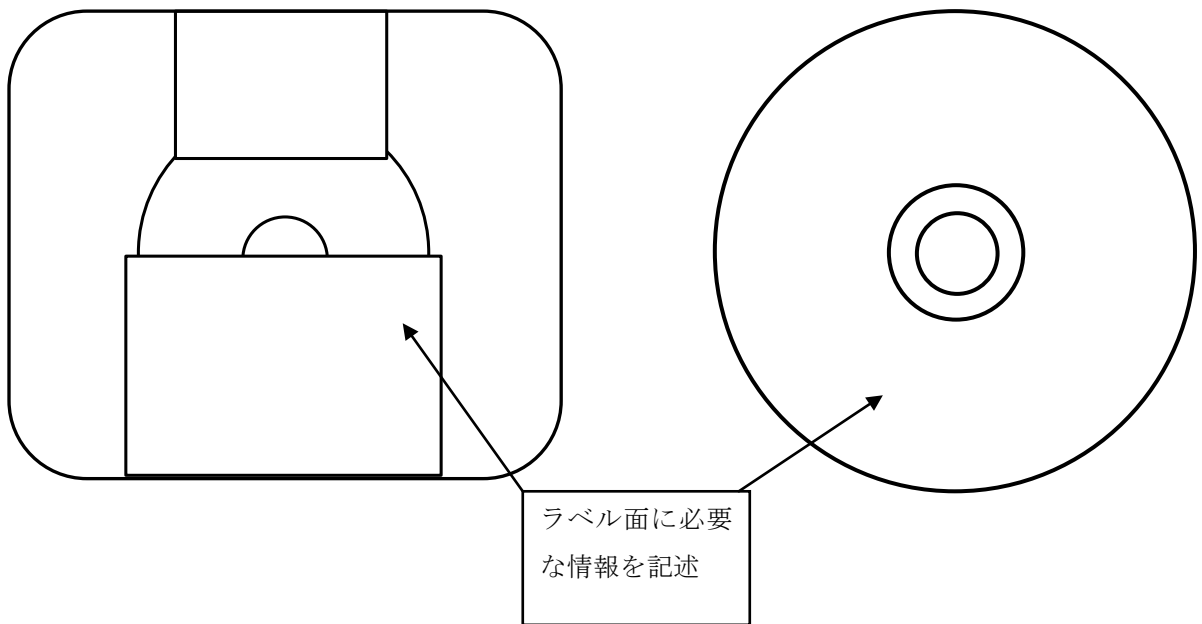


7. 記録媒体及びラベル

- ① MO（230MB又は640MB）またはCD-Rの使用を原則とする。
- ② MOはスーパーフロッピーフォーマットを標準とする。
- ③ 基本的に1枚の媒体に格納する。
- ④ 納品時に「書き込み不可」の状態にする。
- ⑤ MOまたはCD-Rは収納ケースに収納し、収納ケース表面に工事名称と完成年度を明記すること。

また、成果品に使用する媒体に用いるラベルについては、以下の項目に従う。

- ・工事名称
- ・作成年月
- ・設計部署名
- ・請負業者名
- ・ウイルスチェックに関する情報



提出部数

データ（MOディスクまたはCD-R）・・・2部

上記打ち出し・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部

8. ウイルス対策

① 受注者は、納品すべき最終成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行い、検査結果をプリントアウトし、成果品と共に提出すること。

② ウイルス対策ソフトはシェアの高いものを利用する。

③ 最新のウイルスも検出できるように、ウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用する。

④ 納品する媒体のラベルに、ウイルスチェックに関する情報として以下の項目を記載する。

- ・ 使用したウイルス対策ソフト名
- ・ ウイルス（パターンファイル）定義年月日
- ・ チェック年月日

9. その他

設計書に「CADによるデータ作成」という項目がある場合は、以下の仕様に基づきCADデータを作成すること。

(1) 準拠する基準

各図面類の作成において、本仕様書で示されていない項目や一般的な項目については、以下の基準に従う。

- ① J I S A 0 1 0 1 - 2 0 0 3 土木製図通則：日本工業規格（平成15年度）
- ② 土木製図基準：（社）土木学会（2009版）
- ③ CAD製図基準 電気通信編：国土交通省（平成22年9月）

(2) データフォーマット

CADのデータフォーマットは、「SXF（P21）」とする。

(3) 特殊文字について

文字は、J I S Z 8 3 1 3 : 1 9 9 8 「製図に用いる文字」に基づく事を原則とする。特定機種固有の文字は使用しない。

(4) ファイル名の付け方

ファイル名の付け方はスキャニングデータと同様とするが、拡張子が「P21」となっている事を確認すること。

(5) フォルダ構成

CADデータを納品する場合も、スキャニングデータと同じ電子媒体に入れておく。フォルダ構成については、工事名フォルダの下に「CAD」フォルダを作成し、その下にCAD化したデータのフォルダを作成する（スキャニングデータと同じフォルダ名を用いる）。

10. 照明灯属性一覧表

照明灯属性一覧表をエクセルを利用して作成し、一覧フォルダに保存する。

照明灯属性一覧表に入力する内容は、別途指示する。